



## 東日本大震災からの「復興・創生」に関する要望

## 福島再生へ総力を

日本商工会議所は2月20日、「東日本大震災からの『復興・創生』に関する要望」を取りまとめ、公表した。要望は、被災地域の訪問で得られた現場の声や実情、東北六県商工会議所連合会、東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会から寄せられた意見・要望などを踏まえて作成。具体的な要望項目は、「原子力災害の克服、福島の再生」「創造的復興の実現に向けた取り組みの加速・深化」の2本柱で構成している。

「原子力災害の克服、福島の再生」では、第2期復興・創生期間終了以降の継続的な支援のほか、ALPS処理水の海洋放出などに伴う諸外国の日本産水産物の輸入規制に対し、あらゆる機会を捉えて早期撤廃を強力に働き掛けることなどを要望。「創造的復興の実現に向けた取り組みの加速・深化」では、震災以降、

相次ぐ自然災害やコロナ禍などで地域や事業者によって復興のステージが異なる実情を指摘。被災地の中小企業が置かれているステージに応じた経営再建後押しなどを求めている。

## I. 原子力災害の克服、福島の再生

1. 「第2期復興・創生期間」終了後における財源・制度の確保
2. ALPS処理水海洋放出などに係る諸外国の輸入規制撤廃などに向けた対応
3. 風評を乗り越え、自己変革に挑戦する水産事業者などへの支援
4. 福島県における先端研究開発拠点の誘致・整備、企業立地・産業集積の促進
5. ホープツーリズムなどによる震災の記憶と教訓の継承、風化防止
6. 被害実態に合った原子力損害賠償の完全実施
7. 着実な廃炉の実現と除去土壌の早期撤出

## II. 創造的復興の実現に向けた取り組みの加速・深化

1. 「第2期復興・創生期間」終了後の地震・津波被災地域における継続的な支援の実施
2. 先端研究開発拠点の誘致・整備、企業立地・産業集積の促進
3. 創造的復興を担う中小企業の再生支援
4. 復興を支える人材確保、起業・産業人材育成への支援
5. 観光振興による東北ブランドの確立、交流人口の拡大
6. 「広域経済交流圏」の構築に向けたインフラ整備の推進
7. 震災の教訓を生かした各地域における災害の備えの強化

## 訪タイ・インドネシア経済ミッション

## ビジネス環境改善へ両国閣僚らと意見交換

日本商工会議所は1月19日から25日まで、小林健会頭を団長とする経済ミッションをタイ、インドネシアに派遣した。ミッションには日商の小林会頭をはじめ、上野孝副会頭（横浜・会頭）、谷川浩道副会頭（福岡・会頭）など各地商工会議所役員・会員ら55人が参加。現地では、両国の閣僚らを表敬訪問したほか、現地経済団体との経済対話を実施し、両国との協力関係強化やビジネス・投資環境改善などについて意見交換を行った。

タイではエーカナット工業大臣やジャッカポン観光・スポーツ副大臣を表敬訪問したほか、タイ商業・工業・金融合同常任委員会と経済

対話を実施。インドネシアでは、アグス工業大臣、カディール移動労働者保護大臣、ヤシエル労働大臣らと会談したほか、インドネシア商工会議所との経済対話を実施した。

小林会頭は今回のミッションを総括して、「共創していくという意欲が強い。GXなどのスタートアップも出てきて、新しい分野へ日本と共に投資することを目指しており、方向が変わってきたと感じた」との認識を示した。



タイのエーカナット大臣（前列右から4人目）との記念撮影に臨む小林会頭（同5人目）ら



# 日本YEG 第44回全国大会 ほとめき FUKUOKA くるめ大会

## 若きリーダー1万人が参加

日本商工会議所青年部（日本YEG）は2月12～16日、福岡県久留米市を主会場に、「第44回全国大会 ほとめき FUKUOKA くるめ大会」を開催した。大会には、全国からYEGメンバー約1万人が参加。今年度は「未来共創～次代を見据え、果敢に挑戦～」をテーマに、久留米市で会員総会、記念式典、ビジネス交流会、物産展、ビジネスプランコンテストの表彰式などを開催したほか、福岡県内の13市町で分科会を実施した。

15日の記念式典であいさつした小林会頭は、「経済成長の原動力となるのは『地域』と『中小企業』。構造的な賃上げや投資拡大を実現し、地域経済の好循環を創出するためには、中小企業が適正な価格転嫁を通じて賃上げ原資を安定的に確保できるかが鍵となる」と指摘。原資の確保に向け、デジタル化による生産性向上、省力化投資など、自己変革による付加価値の創造・拡大が不可欠との認識を示すとともに、「勇気を持って値上げに取り組み、良い商品・サービスには値が付くという価値観を浸

透させ、デフレマインドを払拭し、価格転嫁を社会全体で受け入れる商習慣の確立に取り組んでいこう」と呼び掛けた。また、海外の青年経済団体との国際交流事業の実施など、今年度の日本YEGの取り組みについて触れ、「経済好循環の主役はわれわれ民間であり、経営者の自己変革が、成長の鍵となる。次代の地域経済を担うYEGメンバーの行動力と創造力を大いに発揮していただきたい」とエールを送った。

また、式典では、全国YEGメンバーの声を取りまとめた政策提言書を、日本YEGの吉川裕太会長から小林会頭に手交した。

なお、2025年度の全国大会は、26年2月24～28日に群馬県伊勢崎市などで開催を予定している。



小林会頭（右）に提言書を手交する吉川会長

### 日本商工会議所発行の旬刊紙・月刊誌のご案内

## 会議所ニュース

日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



月3回発行（1日、11日、21日）  
1部139円 年間購読料4,400円（送料・税込）

## 月刊 石垣

日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる好事例を紹介する特集や各界で活躍する著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。



購読申し込み、  
広告出稿のご案内  
はこちら



毎月10日発行  
1部535円 年間購読料5,700円（送料・税込）



日商 ASSIST Biz



お問い合わせ先

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。